授業科目　カウンセリング技法

【担当教員名】	対象学年	1	対象学科	理学･作業･言語･義肢・ｽﾎﾟ・看護
高森　美紀子	開講時期	後期	必修･選択	選択
	単位数	1	時間数	15

【<概要>又は<一般目標：ＧＩＯ>】

カウンセリング技法の概観を学び、その技法を使って人を援助する前提として個人の持つ「準拠枠」を知ることが大切と考えるので、「自己理解」「自己一致」を学習する。

【<学習目標>又は<行動目標：ＳＢＯ>】

1　社会福祉に於けるカウンセリングの重要性を理解する。
2　カウンセリングの諸技法を知る。
3　個々の「準拠枠」を理解する。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	自己開示		ワーク
2	カウンセリング技法		講義・ワーク
3	カウンセリング技法		講義・ワーク
4	技法の色々		講義・ワーク
5	交流分析と自己理解		講義・ワーク
6	交流分析と自己理解		講義・ワーク
7	自己を知る		講義・ワーク

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年･価格･その他>
教科書（必ず購入する書籍）	「わかりやすい交流分析」	杉田峰康	チーム医療	1984年(2007年新装)　1260円
参考書				
その他の資料	必要に応じて印刷教材を配布する。			

【評価方法】	【履修上の留意点】
出席状況及びレポートにより評価する。	

全科共通科目　医療福祉